

# 連合駿台会報

No.359 令和5年1月20日発行  
 発行・編集 連合駿台会  
 発行人 広報委員長・齋藤柳光  
 編集人 事務局・矢嶋まゆ子  
 〒101-0052 千代田区神田小川町三三二  
 明治大学「紫紺館」内  
 電話 (〇三) 三二九六一四七四七  
 印刷 有限会社 美 創

## 七〇周年で母校と なお一層の連携を...

連合駿台会  
会長 田村 駿



明けましておめでとございます

会員の皆さまにおかれましては、ご家族の皆様と健やかな新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

昨年コロナ禍で、人と人の接触機会が大幅に減りましたが、わが連合駿台会はお陰様で、五、七、九、十一月と例会を開催し、忘年会会では、百二十名を超える多くの参加者を得ました。改めて会員の皆さまの強い絆に感謝申し上げます、本年もなお一層のご協力をお願いいたします。

昨年は、新型コロナに続いて、二月には、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻、平和に浸っていた日本も隣国の脅威にさらされる

ようになり、急遽、戦後の安保戦略の改定など慌ただしい動きとなってきました。一方、生活面では、エネルギー、原材料の高騰、極端な円安などにより大幅な物価高で実質賃金も大きく目減り厳しい生活環境におかれることとなりました。

この様な中、創立一四二年の明治大学は、六十万人にのなんんとする卒業生を数えます。その中で熱い支援の志をお持ちの「経済、法曹、文化など各界で活躍するOB」として選ばれた皆さまに、母校が期待するところは少なくありません。

先般、東洋経済オンラインで初代編集長を務められた本学経営学部OBの田宮寛之氏が、「明治大学一、二年生向け就職体験 (MEIJI

Job Trial) が、注目されている」と、書いておられました。これまで三、四年生のみだったインターンシップを一、二年生が熱望し、企業も積極的に受け入れています。この先駆的な試みは、まさに「就職の明治」面目躍如です。オンライン就活などというご時世だけに、人と人とのコミュニケーションがたつとばれています。本会はフューチャースキル(産学協同就業力)養成講座で支援してきた実績もあります。パンデミックに翻弄されている現役学生に手を差し伸べることは、まさしく志ある我々に母校が求める連携の一つでしょう。

先の忘年会で、発表いたしました、今年度は本会が一九五三(昭和二十八)年の茗水クラブとして創立されてから七〇周年を迎え、九月十四日には、記念式典を行うこととなりました。当時、母校は財団法人から、現在の学校法人となり、私が現在議長を仰せつかっている評議員会も発足しております。また、経営学部発足や大学院の設立などで拡充の時期でもありました。茗水クラブはそのような背景の中で、「母校を支援しよう!」と識見も豊かな国や企業をリードする先達によって創設されました。今年度は、あらためてその趣旨を継承し、皆さんと七〇周年をお祝いしたいと思っております。

会員の皆さまのご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。



# 二〇二三年も

## 連合駿台会の皆様と共に「前へ」

二〇二三年の年頭にあたり、謹んでお慶びを申し上げます。田村会長を始め、連合駿台会の皆様には、昨年も学術賞・学術奨励賞、学生対抗プレゼンテーション大会、フューチャースキル養成講座、リバティアカデミー寄付講座そしてホームカミングデーやシエイクスピアプロジェクトへの協賛など、本学に対し多大なるご理解とご支援を賜っており、学校法人を代表し厚く御礼を申し上げます。また、九月十四日には連合駿台会創立七十周年記念行事が予定されていると伺っておりますので、大変楽しみにしております。

さて、二〇二二年を振り返りますと、本学の永年にわたる大きな課題に結論を得ることができた年でありました。まず一つ目は、三月三十一日に学校法人日本学園と系列校連携に関する協定を締結いたしました。本学は一九四九年に学校法人中野学園を系列校化し、それから七十年以上の時間が経過しておりました。今後の少子化と大学進学者数の減少を見据え、優秀な生徒たちを予め確保していく必要があるという観点で、吉田茂元首相や永井荷風、横山大観、そして本学の第五代総長であった志田鉦太郎先生をはじめとする多くの著名人を輩出している伝統校であります日本学園を系列校化することといたしました。二〇二六年に現在の男子校から男女共学校へ、校名は明治大学付属世田谷中学校・高等学校へ

と変更し、本学への推薦入試による受け入れは二〇二九年度からとなります。

二つ目は、資金運用の多様化です。九月二十六日に評議員会の承認を得て、資金の運用に関する規則を一部改正し、これまでの元本保証のある取引に限定した運用方法を変更いたしました。今後は資金運用管理委員会を設置し、学外委員として実務経験者を招聘し専門的な助言を受けるなど運用体制を強化いたします。そして、本学の金融資産のうち、もともと長期的に運用が可能な第三号基本金引当特定資産に限定してミドルリスク・ミドルリターン運用をスタートし、資金運用収入の増加を図り、教育研究の発展に寄与いたします。これらの系列校連携や資金運用の多様化は、本学の歴史の新たな一ページといえます。

また、施設整備面においては、昨年は一四〇周年記念事業の目玉の一つであります和泉キャンパスの新教育棟「和泉ラーニングスクエア」の竣工や、八幡山の体育会競走部・サッカー部の新宿舎の着工がございました。今後は生田キャンパスにおける多様な学びの推進、教育施設の充実のため、「生田キャンパス第二中央校舎(仮称)」の建設に取り組みまいります。ロシアのウクライナ侵攻や円安による建築資材高騰等の影響は、やはりある程度避けられないと考えております。そのような点では厳しいも

学校法人明治大学  
理事長  
柳谷 孝



のがありますが、幸いここ数年で財政の健全化が一定程度進み、施設整備のための減価償却引当特定資産や中長期修繕引当資産等を各年度ごとに積み立ててきておりますので、よほどの事態にならない限りは、計画通りのスケジュールで建設計画を進め、生田キャンパスの強靱化を支えてまいります。このことに伴い、「生田第二中央校舎建設整備事業募金」の募集を開始いたしました。寄付者銘板はもちろんのこと、ヒマラヤスギを用いた寄付芳名プレートや教室顕彰プレートなどの各種顕彰制度もご用意いたしましたので、是非皆様からのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

なお、創立一五〇周年に向けた大きな計画として駿河台キャンパスにおける神田猿樂町地区を中心とした施設整備計画を予定しています。また、他キャンパスにおける施設計画も予定しており、次代に向けた高品質のメディア授業や、デジタル化による膨大な情報の統合管理の推進等の情報化戦略と合わせて、アジアのハブとなるキャンパスを目指し、大学のレジリエンスを強化してまいります。

結びになりますが、本年も引き続きのご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、連合駿台会の皆様方のさらなるご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 困難な時代だからこそ、力強く「前へ」

明治大学  
学長  
大六野 耕作



二〇二三年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。早いもので学長就任から三回目の新年を迎えました。就任当初より猛威をふるう新型コロナウイルス感染症は、経済活動をはじめとしたあらゆる局面において、いまだに我々の社会・生活に甚大な影響を与え続けています。さらには、ロシアによる一方的なウクライナへの侵攻、深刻化を増す気候変動問題等も相まって、地球規模でエネルギーや食料の供給不安が顕在化し、世界は大きな難局に直面しています。

他方、このような状況にあっても本学は立ち止まることなく、常に「前へ」歩みを進めております。

昨年度春学期からキャンパスへの通学を前提とした対面授業を再開しましたが、単にコロナ禍前の授業形態に戻るのではなく、過去二年間で蓄えたオンライン授業のノウハウを生かした新しいメディア授業を展開するなど、全学的に教育改革を進めました。

また、和泉キャンパスでは新しい教育棟である「和泉ラーニングスクエア」の学生利用が始まりました。

学生個人やグループでの主体的学びを促進するスペース「グループボックス」や、学生同士が偶発的に集まり出会うことでイノベーションを起こす「プレゼンテーションラウンジ」、リラックスした雰囲気の中で学生同士の新しい出会いや会話が生まれる「グリーンテラス」等、アクティブラーニングを具現化する、さまざまな新しい仕掛けや工夫が数多く盛り込まれています。もちろん、われわれが昨今のコロナ禍を経て修得したメディア授業への対応等も充分配慮がなされています。利用開始から一年弱が経ちましたが、利用者である学生・教員のみならず外部からも高い評価を頂いております。コロナ禍で我々が気付いたのは、一番重要な教科書はキャンパスかもしれないということでした。自分とは異質の意見と出会い、既成概念を革新させ、成長していく。これを実現させるための空間こそが、和泉ラーニングスクエアです。

私自身も、コロナ禍の渡航規制が緩和されたことを受け、三年ぶりに海外大学の動向を自らの目で確かめ、海外の学長や総長とじっくりと議論する機会を得られました。

そこで、世界の大学はコロナ禍を経験する中で急速に進化を遂げていることを痛感しました。

そうした大学に伍して「明治大学」が世界の耳目を集める大学になるために、二〇二一年の本学一四〇周年記念式典で理事長とともに発表した「MEIJI VISION 150「前へ」」にも掲げている「世界トップレベルの教育力ある大学」を目指し、さらに世界のトップユニバーシティとの連携を強化していきます。

急速に展開している今のグローバル化社会で生み出される様々な可能性と歪みに常に対応し、人間が人間として生きるに値する社会の実現に寄与する存在こそ大学であると考えています。先行きの見通せない時代に、常識にとらわれることなく、近代文明のあり方を批判的に振り返り、現代社会を脅かす問題を見据え、平和で豊かな時代を切り拓く知恵を持った人材の創出をすべく、本年も最大限努力し、さらに進化の歩みを加速してまいります。

結びにあたりまして、本年も皆さまの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、連合駿台会のみならず、ご発展と会員各位のご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



株式会社埼玉りそな銀行  
 シニア  
 アドバイザー  
 池田 一義  
 〒330-9088 さいたま市浦和区常盤七-四-一  
 TEL 〇四八-八三五一-六三四  
 FAX 〇四八-八二四一-六五八〇

明治大学評議員  
 連合駿台会顧問  
 有賀 隆治  
 〒105-0001 港区虎ノ門一-二-一〇-一六〇-一  
 TEL & FAX 三五八-一七七八〇

株式会社エービーコーポレーション  
 代表取締役  
 社長  
 阿部 倫明  
 〒980-0004 仙台市青葉区宮町三-八-一三三  
 TEL 〇二二-二二五-一〇八一  
 FAX 〇二二-三三九-三八二七七

足立会計事務所所長  
 株式会社足立経営サポート取締役会長  
 足立 吉松  
 〒410-0832 静岡県沼津市御幸町二四-一三〇  
 TEL 〇五五-九三二-一六三九一  
 FAX 〇五五-九三三-〇一二五  
 明治大学校友会静岡県支部顧問

株式会社新都心エージェンシー  
 代表取締役  
 安達 明正  
 〒163-0436 新宿区西新宿二-一-一  
 新宿三井ビル三六F  
 TEL 三三四-五七七-六八二  
 FAX 五三三-三三七-七六五

株式会社りそな銀行  
 代表取締役  
 社長  
 岩永 省一  
 〒135-8581 江東区木場一-一五-一六五  
 TEL 六七〇-四二二-一一一  
 FAX 五六三-二一五-五四九

学校法人明治大学理事  
 明治大学校友会相談役  
 岩田 守弘  
 〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘一-一四-一六  
 TEL & FAX 〇七七-五二六-一〇八〇二

連合駿台会  
 大考委員会  
 委員長  
 伊原 敏雄  
 〒173-0025 板橋区熊野町一-二-一六  
 TEL & FAX 六七八-九一七-七三三

三三五流通株式会社  
 専務取締役  
 泉山 和久  
 〒039-1189 青森県八戸市長苗代上中坪三五-一  
 TEL 〇一七八-二七四-一四一  
 FAX 〇一七八-二七四-一五〇九

国際自動車株式会社  
 代表取締役  
 社長  
 石井 仁  
 〒107-0052 港区赤坂二-一-八一六  
 km国際赤坂ビル  
 TEL 三五八-六三六-一六六  
 FAX 三五八-六三六-〇六〇

安全と信頼の警備  
 タイヨー株式会社  
 最高顧問  
 大村 託現  
 〒124-0023 葛飾区東新小岩五-八-一一二  
 TEL 五八七-五七三-五〇  
 FAX 五八七-五七三-六〇

代表取締役  
 ペップ・メイツ株式会社  
 大前 実之  
 〒103-0011 中央区日本橋大伝馬町一-四-一〇-四F  
 TEL 三六六-三三八-二二七  
 FAX 三六六-三三八-八二八

学校法人明治大学  
 経営企画担当  
 常勤理事  
 大原 幸男  
 〒101-8301 千代田区神田駿河台一-一  
 TEL 三二九-六四四-〇〇〇  
 FAX 三二九-六四四-三二八

社会保険労務士法人大槻経営労務管理事務所  
 名誉会長  
 大槻 哲也  
 〒104-0061 中央区銀座二-一-六一七  
 銀座大栄ビル八F  
 TEL 五五二-四一七-〇一  
 FAX 五五九-一七三-六五

株式会社ユアテック  
 取締役社長  
 社長執行役員  
 太田 良治  
 〒983-8622 仙台市宮城野区榴岡四-一-一  
 TEL 〇二二-二九六-二二一一  
 FAX 〇二二-二九六-二二七五

代表取締役  
社長 木下唯志  
〒700-0822 岡山市北区表町三二二二二  
TEL 〇八六一三三三〇四一一  
FAX 〇八六一三三三〇四九七一一  
E-mail:webmaster@kinoshita-circus.co.jp

代表取締役  
社長 狩野伸彌  
〒163-1119 新宿区西新宿六二二二二  
TEL 五三三三三三三三三三三  
FAX 五三三三三三三三三三三

株式会社インソース  
エグゼクティブ  
アドバイザー  
〒116-0013 荒川区西日暮里四一九一一二  
TEL 五五七七一一二七三  
FAX 五八三四一一二五七三

株式会社カナエ  
代表取締役  
社長 金子圭太  
〒105-0013 港区浜松町二一〇一〇二  
TEL 三四三二一五四一〇  
FAX 三四三七一六六六八  
カナエ本社ビル

富士建物管理株式会社  
代表取締役  
長田宇功  
〒190-0021 東京都立川市羽衣町三一八一一一  
TEL 〇四二一五二四一六五一一  
FAX 〇四二一五二四一六五一五

代表取締役  
取締役会長 黒崎昭男  
〒362-8570 埼玉県上尾市大字平塚二二六五一  
TEL 〇四八一七七七一六四八九  
FAX 〇四八一七七七一六四九一

代表取締役会長  
兼取締役会議長 栗原権右衛門  
〒196-8558 東京都昭島市武蔵野三一一一一  
TEL 〇四二一五四三一一一一一  
FAX 〇四二一五四六一三三三三三  
http://www.jeol.co.jp

野村不動産ホールディングス株式会社  
代表取締役社長  
グループCEO 沓掛英二  
〒163-0566 新宿区西新宿一―二六―二  
TEL 三三三三三三三三三三三  
FAX 三三三三三三三三三三三

スルガ銀行株式会社  
社外取締役  
増名報酬委員長 草木頼幸  
〒100-0005 千代田区丸の内三―一―一  
TEL 六八八〇一三三三三  
FAX 六八八〇一三三三三

アサガミ株式会社  
マイプリント株式会社  
代表取締役  
社長 木村健一  
〒100-0005 千代田区丸の内三―一―一  
TEL 六八八〇一三三三三  
FAX 六八八〇一三三三三

レジエントジャパン株式会社  
代表取締役  
社長 坂田英夫  
〒163-0027 中央区日本橋一―二―一〇  
TEL 六二二六五一二二四八  
FAX 六二二六五一二二四八  
東洋ビル

一般社団法人健康ニッポン  
会長 齊藤柳光  
〒330-0855 さいたま市大宮区上小町九四五  
TEL 〇四八一六四四一〇〇八五  
FAX 〇四八一六四四一〇〇三〇六

東神興業株式会社  
社主 根田哲雄  
代表取締役 根田吉雄  
〒167-0043 杉並区上荻一―二二―一九  
TEL 五三三三三三三三三三三  
FAX 五三三三三三三三三三三

株式会社スヴェンソンホールディングス  
代表取締役  
会長 児玉圭司  
〒107-0052 港区赤坂一―九―一三  
TEL 三五八六〇〇一〇一  
FAX 三五〇五一一五七九七  
三会堂ビル5F

日本共同株式会社グループ  
城南不動産販売株式会社  
代表取締役  
会長 小島清治  
〒141-0022 品川区東五反田二―二〇―一四  
TEL 三四四四一―二二三一  
FAX 三四四四一―一三三三  
(携帯) 〇九〇―三二三七―四三三三

総物流をはじめとする多彩なサービスを  
“お客様のご満足”と“安全”をモットーに  
提供し続ける会社、それがアサガミです



本社：東京都千代田区丸の内3-1-1  
TEL (03)6880-2200 FAX (03)6880-2230  
https://www.asagami.co.jp

<p>取締役会長 <b>佐野公哉</b></p> <p>〒104-8312 中央区明石町六一四 TEL 六八三二一八七三</p>	<p>片倉工業株式会社</p> <p>代表取締役 会長 <b>佐藤仁</b></p> <p>〒144-0034 大田区西糀谷四一二八一八 TEL 三七四二一七六〇七 FAX 五七〇五八〇九七</p>	<p>学校法人明治大学 常勤監事 <b>佐藤健</b></p> <p>〒101-8301 千代田区神田駿河台一一一 TEL 三三九六四〇〇〇</p> <p>中小企業診断士</p>	<p>株式会社アーバンコンサルタンツ 代表取締役 <b>坂本道昭</b></p> <p>〒101-0021 千代田区外神田二一三一七 アーバンファーストビル TEL 三三五二一七五〇 FAX 三三五二一七六〇</p>	<p>株式会社HEXEL Works(ヘクスルワークス) 専務執行役 <b>坂本孝行</b></p> <p>〒105-0012 港区芝大門一―一―三三〇 TEL 三四五九一三三六六 FAX 五四〇四一六七一五</p>
<p>代表取締役 社長 <b>高橋郁夫</b></p> <p>〒150-0001 渋谷区神宮前一―八一六 TEL 三四〇五―四〇〇一 FAX 三四七九―八〇〇一</p> <p>学校法人明治大学評議員</p>	<p>ダイアナ株式会社</p> <p>代表取締役 社長 <b>高澤徹</b></p> <p>〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川二一六一―一三三三 TEL&amp;FAX 〇四五―三三六―四九七〇 (携帯) 〇九〇―二七五七―一六一〇 E-mail:ttakazawa@lily.ocn.ne.jp</p>	<p>株式会社日本カーゴエクスプレス 代表取締役 <b>鈴木隆志</b></p> <p>〒105-0003 港区西新橋一―二〇―九 TEL 五二五―一―〇二〇一 FAX 五二五―一―〇二〇一 <a href="http://www.jecexp.co.jp">http://www.jecexp.co.jp</a></p>	<p>創業昭和五十六年 東都ゴルフ株式会社東都ジャパン 代表取締役 <b>杉浦伸二</b></p> <p>〒103-0027 中央区日本橋三―八一―一〇 TEL 三二八―一―〇八九〇 FAX 三二八―一―〇八九〇</p>	<p>株式会社廣澤精機製作所 代表取締役 社長 <b>柴田清之</b></p> <p>〒300-4297 茨城県つくば市寺具一三三三―一 TEL 〇二九―八六九―一―一 FAX 〇二九―八六九―一―一三三</p>



船用照明器具・船用配線器具・船用信号器具・船用配電盤  
ヘリコプタ着船援助器具・高耐水性照明器具  
ISO 9001:2008認証工場

— 信頼と実績に応え、未来に挑戦する集団 —

**大石電機工業株式会社**

代表取締役社長 **大石 哲也** 昭和63年工学部卒業  
〒140-0011 東京都品川区東大井2-17-9  
TEL 03-3761-2166 (代表)・FAX 03-3761-4851  
<http://www.ohishi-denki.co.jp>

代表取締役  
会長  
**角田裕一**

〒991-0044 山形県寒河江市越井坂町三八一  
TEL 〇二二七七八六一六二一一  
FAX 〇二二七七八六一〇四八

代表取締役  
会長  
**田村駿**

(明治大学評議員会議長)

〒154-0012 世田谷区駒沢二一四三一一三  
TEL 〇九〇一四三七〇一五三三二  
北野建設株式会社顧問

代表取締役  
社長  
**竹内太一**

〒151-0065 渋谷区大 山町二二八一一二  
TEL 三四八一〇〇五〇  
FAX 三四六五一一三六九六  
店舗所在地：銀座・赤坂・丸の内・日本橋・新宿

代表取締役社長  
社長執行役員  
**高見克司**

〒261-0021 千葉市美浜区ひび野一四一三  
TEL 〇四三一三三一一一一  
FAX 〇四三一三三一一〇七六四

学校法人新潟大原学園  
理事長  
**高橋淑浩**

〒950-0086 新潟市中央区花園一三三一一三  
TEL 〇二五一一二四六一八八八  
FAX 〇二五一一二四六一一八八八

所長  
税理士  
**中根武**

〒170-0003 豊島区駒込一〇二一一一六  
TEL 三九四五一一八五九四  
FAX 三九四五一一八五四一  
レジデンス六義園一F

代表取締役  
社長  
**長瀬幸泰**

〒501-2697 岐阜県関市武芸川町跡部一三三三一一一  
TEL 〇五七五一一四六一三三三三  
FAX 〇五七五一一四六一三三二五

明治大学金融紫紺会副会長  
明治大学雄弁部OB会会長  
日本証券業協会金融証券インストラクター  
**富水流孝二**

〒170-0013 豊島区東池袋四一五一一  
エアライスタワー八一六  
TEL & FAX 三九八七一一八九九

代表取締役  
**徳丸平太郎**

〒335-0001 埼玉県蕨市北町三一五一一四  
TEL & FAX 〇四八一四四三一二〇五〇

連合駿台会  
専務理事  
**当山明彦**

〒101-0052 千代田区神田小川町三一三二二  
TEL 三二九六一四七四七



『防水と屋上を総合的にプロデュースする』

総合防水材料メーカー

**日新工業株式会社**

〒120-0025 東京都足立区千住東2丁目23番4号  
TEL 03-3882-2424

代表取締役社長 **相臺 志浩**



ミズ太郎

株式会社ビッグKテニス  
代表取締役 畠中君代  
〒167-0053 杉並区西荻南三二八―一〇一―一〇〇一  
TEL 〇九〇―三〇六三―六〇六二  
FAX 三二四七―六八八三  
駿台体育会会長

公益財団法人新聞通信調査会  
公益社団法人日本広告審査機構  
理事長 西澤豊

株式会社ナミキ  
代表取締役会長 並木洋一  
〒175-0094 板橋区成増三―一―二二―一  
TEL 三九三九―〇〇〇二八  
FAX 三九七五―〇〇〇五六

住友生命保険相互会社  
常務執行役員 中野祥宏  
〒104-8430 中央区八重洲二―二二―一  
TEL 六六六四―二九九七  
FAX 六六六四―八八九一

セゾン投信株式会社  
代表取締役会長CEO 中野晴啓  
〒170-6048 豊島区東池袋三―一―一―一  
サンシャイン60・四八F  
TEL 三九八八―八七一〇  
FAX 三九八八―八六七三

アイム社会保険労務士法人  
代表社員 真家裕介  
〒160-0022 新宿区新宿一―一六―一〇  
コスモ御苑ビル3F  
TEL 五三六三―五五五四  
FAX 五三六三―四五二八

フジ企画株式会社  
代表取締役 藤代耕一  
〒221-0021 横浜市神奈川区子安通一―二二―一六  
TEL 〇四五―四三三―〇一〇一  
FAX 〇四五―四三三―〇六〇〇

株式会社グリーンタワー  
代表取締役 林威樹  
〒261-0021 千葉市美浜区ひび野二―一〇―三  
TEL 〇四三―二九六―三六七六  
FAX 〇四三―二九六―一三三五

濱田総合法律事務所  
代表弁護士 濱田憲孝  
〒102-0081 千代田区四番町四―一―九  
東越伯鷹ビル3F  
TEL 六二六―一六八二―四  
FAX 六二六―一六八二―五

ネットトヨタ水戸株式会社  
取締役 長 幡谷公朗  
〒310-0851 水戸市千波町一―九八八  
TEL 〇二九―二四一―三二二一  
FAX 〇二九―二四三―二六四四

株式会社ダイニチ  
代表取締役社長 六井元一  
〒279-0002 千葉県浦安市北栄一―一六―一三  
TEL 〇四七―三五四―〇一三三  
FAX 〇四七―三五四―〇七七七  
<http://www.dainichi.co.jp>

株式会社WORLD GROUP  
代表取締役社長 美濃和男  
〒141-0031 品川区西五反田七―二〇―一九  
KDX西五反田ビル  
TEL 六三三八―〇〇八〇  
FAX 六三三八―八〇八八

学校法人松商学園  
理事長 丸山律夫  
〒390-1295 長野県松本市新村二〇九五―一  
TEL 〇二六三―四八七―二〇七  
FAX 〇二六三―四八七―二九七

株式会社松本商会  
代表取締役社長 松本伸一郎  
〒354-0021 埼玉県富士見市鶴馬三四六八  
TEL 〇四九―二五二―〇六一一  
FAX 〇四九―二五二―一八八〇

認可保育所さくら保育園  
園長 松崎優子  
〒279-0011 千葉県浦安市美浜三―一九―一四  
TEL 〇四七―三〇三―三九三七  
FAX 〇四七―三〇三―三九四七

寒中見舞いはがき  
印刷承ります



マイプリント株式会社  
myprint

〒206-0025 東京都多摩市永山6-11-11  
TEL 042-337-8111(代表) FAX 042-337-8121  
<http://www.myprint.co.jp>



<p>連合駿台会 顧問 <b>村岡健</b></p> <p>〒158-0083 世田谷区奥沢八一二六一六 TEL &amp; FAX 三七〇一三二二七</p>	<p>株式会社大同 フレンドシップカントリークラブ 代表取締役 <b>村山友彦</b></p> <p>〒100-0014 千代田区永田町二一四一 フレンドビル TEL 三五八〇一三四四七</p>	<p>学校法人明治大学 理事長 <b>柳谷孝</b></p> <p>〒101-8301 千代田区神田駿河台一 TEL 三三九六一四〇〇 FAX 三三九六一四三二八</p>	<p>株式会社やまたけ 代表取締役 <b>山口大介</b></p> <p>〒123-0841 足立区西新井五一三五一一三 TEL 三八九九一三七三七 FAX 三八九九一四六七二</p>	<p>学校法人明治大学顧問 共同印刷株式会社社友 <b>山口政廣</b></p> <p>〒273-0047 千葉県船橋市藤原七一一四一二〇四 TEL &amp; FAX 〇四七一四三八一八六三五</p>
---	---	---	--	---

<p>株式会社山田債権回収管理総合事務所 代表取締役 <b>山田晃久</b></p> <p>〒220-0004 横浜市西区北幸一三一八一五 横浜STビル一八F TEL 〇四五―三二五―三九一 FAX 〇四五―三二五―三九〇五</p>	<p>株式会社不二家 代表取締役 <b>山田憲典</b></p> <p>〒113-0012 文京区大塚二一五一五 オーク音羽ビル TEL 五九七八一八一三三 FAX 五九七八一八六三三</p>	<p>株式会社日本金属工業研究所 取締役会長 <b>山田朝彦</b></p> <p>〒113-0023 文京区向丘一六一一二 TEL 三八一―七七〇九 FAX 三八一―八〇〇〇三 公益社団法人日展理事・日本芸術院会員</p>	<p>税理士法人東京シテイ税理士事務所 代表税理士 <b>山端康幸</b></p> <p>〒163-0433 新宿区西新宿二一一一 新宿三井ビル三三三F TEL 二三三四一三三〇一 FAX 二三三四一三三〇二 E-mail:yamahata@tokyocity.co.jp</p>	<p>株式会社バンダイロジナル 代表取締役 <b>弓野理恵</b></p> <p>〒124-8585 葛飾区東四つ木四一四二一五 TEL 三六九五―五二一五 FAX 三六九五―五二六〇</p>
--	--	--	--	--

<p>カーネリアン税理士法人 代表 <b>吉田光一郎</b></p> <p>〒103-0026 中央区日本橋兜町一―一七 ビーエム兜町ビル五F TEL 五六二二―二九一〇 FAX 五六二二―二九一二</p>	<p>金魚の吉田 株式会社ヨシタ 代表取締役 <b>吉田信行</b></p> <p>〒124-0023 葛飾区東新小岩五―一四一七 TEL 三六九四―三七五一 FAX 三六九四―三七五三</p>	<p>株式会社東京精密 代表取締役 会長CEO <b>吉田均</b></p> <p>〒192-8515 東京都八王子市石川町二九六八―二 TEL 〇四二―六四二―一七〇一 FAX 〇四二―六四二―一七九八</p>	<p>神道神習教・桜神宮 管長・宮司 <b>芳村正徳</b></p> <p>〒154-0014 世田谷区新町三―二一―一三 TEL 三四二九―〇八六九 FAX 三四二九―七四五二</p>	<p>ワタヒヨウ株式会社 代表取締役 <b>渡邊能宏</b></p> <p>〒984-0015 仙台市若林区卸町三―四―一二 TEL 〇二二―二三八―七六二五 FAX 〇二二―二三八―七八四一</p>
---	---	--	---	--



## 連合駿台会十一月例会

「たった二人のマルチクリエイティブ」

ザリガニワークス

武笠太郎氏 &amp; 坂本嘉種氏

連合駿台会の忘年例会が、十一月十五日（火）十七時三十分より、ロイヤルパークホテル「有明の間」で開催されました。当日の講演の趣旨は以下の通りです。

\*



武笠太郎氏(左)・坂本嘉種氏(右)

「コレジヤナイロボ」で世に認められる

これから弊社がやってきた仕事を紹介させていたでいて、お話を聞いていただいた後に、是非、弊社がこれからどうしたらいいのかをご教授いただければと思っています。

有限会社ザリガニワークスは、まだ有限会社で作れる頃設立した会社で、設立して十九年目になりますが、いまだ従業員もおらず、二人ぼっちでやっております。僕たちは多摩美術大学・グラフィックデザイン課を卒業しましたが、普通、エリートコースだと広告代理店に行つてデザインブランディングをやつて、その後独立して自分の事務所を持つという方が多いんですけど、僕らの場合はちよつと変化球ですね。卒業生には正統派の広告マン系から、芸能人系まで幅広く活躍している方がいますが、僕らを系統別に言うとしりあがり寿先輩（漫画家）を筆頭とする、ゆるい系統の派閥です（笑）。イマジネーション、あなたの想像力に灯を点けたい、というスローガンでやっております。

代表作と呼ばれるものが「コレジヤナイロボ」というロボットです。子供にロボット玩具をねだられた親が、望んだものとは違う外見のロボットを間違えて買ってきてしまったというエピソードを彷彿させる外見が特徴。ネーミングは、プレゼントの包装を開けた子供が決まって泣き叫ぶ台詞「僕が

欲しかったのは）これじゃない！」から命名。親は良かれと思つて買って来ても、子供はこれじゃないって言う、でも子供たちに「何の努力も無しに欲しいものが手に入るほど、世の中は甘くない」という人生教育・情操教育を施すことで、強い子に育ちます……、というコンセプトで発売しました。

僕らが少年の頃は、テレビでロボットアニメが流行つて、プラモデルが手に入らないという状況だったので、まがいのもの」と呼ばれる偽物の商品がたくさん出ました。著作権の整備もまだ緩かった頃だったので、親がわからずそういったものを間違えて買って来て、こういう事件が多発したというところに起因しています。「コレジヤナイロボ」は木製ロボット玩具で、さる有名ロボットを似せたものですが、明らかに異なるスタイリングで、両腕は手がなく、ドリルと思わせる円錐と鉄球（木製）が付いている。背中には車輪があり、横になつて地面を走れる。材料は木と釘で、一体一体組み立てから木の着色まですべて手作り、手は釘で付けたものなので、ピックを外して左右交換は可能です。正式な商品名は全文カタカナ表記、ネタタグとしてもこれを使っています。これじゃない」と言われているのに、どんどんバリエーションを重ねまして、十種類以上もあります。

二〇〇八年にグッドデザイン賞を受賞しま

したが、「コレジヤナイロボ」にはきつちり作りたくない、部品の付き方にしても微妙な手作り感を出したい、という思いが強くなります。工場生産はこういうファジーな作業が一番苦手で、手作り感を出すというのは非常にハードルが高いものなのです。コッソツと、自分（武笠太郎）で作ったほうが速いと思っ

ているうちに、七千五百体ほどになりました。ですから「コレジヤナイロボ」は、一つとして同じものは存在しません

グッドデザイン賞を受賞したことで、ペンタックスさんやトウモロランドさんなどの企業と「コレジヤナイロボ」とのコラボが増えました。ザリガニワークスに対する社会的な信用が増したということでしょうか、受賞後は、クライアント企業の決裁権限を持つ方が、僕らの企画に対して承認印を押してくれやすくなりました。それまでは、クライアントの企画担当者が、僕らが出した企画を一生懸命通そうとしてくれても、その上司に理解されずに不採用、というパターンが少なくありませんでしたから（笑）。こうして、「コレジヤナイロボ」はいろいろな企業を巻き込んで、コラボ商品、コレジヤナイロボキーホルダー、コレジヤナイロボTシャツ、コレジヤナイロボガチャガチャなど、様々なアイデア企画を生んでいます。

坂本嘉種の作詞・作曲による、コレジヤナ

イロボ主題歌CD『IT IS NOT THIS iコレジヤナイロボ!』まであります。なんと、歌っているのは『マジンガーZ』などで有名なアニメソングの帝王・水木一郎さんでした。青山の「ポール・スミススペース」（二〇二一年閉店）の屋上ギャラリーに、「コレジヤナイロボ」が展示されたこともありました。

#### 企画製品が次々ヒットして

弊社企画で売れたものに、「土下座ストラップ」というものがあります。ガチャガチャ商品ですが、皆さんガチャガチャをやったことありますか？ 最近は結構、大人をターゲットにしているものが多いんです。昭和の頃は子供向けメディアとか、販売シテムとして大きくなったんですが、その人たちの成長と共に、今では大人向けマーケットとして狙っています。その先駆的存在になったのがこの「土下座ストラップ」。サラリーマンが土下座して謝罪している様子

をちよつと冷やかしているんですが、先日はずみませんでした。みたいな時にちよつと添えてあげると、コミュニケーションが円滑に進むとも言われました（笑）。

ガチャガチャの世界は、十万個ぐらい売れるとヒット商品と呼ばれるような小さいマーケットですが、この「土下座ストラップ」は累計でシリーズ三百万個売れたので、大ヒッ

ト商品と呼ばれるようになって、このガチャガチャ発信からのメディアとして、いろいろな雑貨に展開したりもしました。ちよつとおかしい感じの人も混じっていますけれど、これが女子高生なんかにも受けて、お守りとして効果があるみたいな変な噂も流れたりしました。こうなると、キャラクター・コラボレーションがとても有効な手段でして、筋肉マンとか、ゲームの『ストリートファイター2』ともコラボして、こちらは海外でかなり話題になりました。

「自爆ボタン」というのも、会社設立前から手作りイベントに出していた商品です。ドクロマークを描いたプラスチックケースに赤いボタンを内蔵した玩具で、スイッチとして機能はないので、部屋の壁、パソコン、家電製品などに貼って緊張感を味合うだけで、押ししても何にも起こりません。しかしいざ販売してみると、最初に作っていた二十個分が即完売しました。お客さんは「帰ったら家のトイレに付ける」とか、「車を買ったから運転席に付ける」など、思い思いの使い方を話してください。嬉しかったですね。自爆ボタンはその後、「自爆ボタンDX」「自爆ボタンPREJIDENT」「自爆ボタンカーズテッカー」などへとシリーズ化。「緊張感をイメージできること」「お客さんのイメージの邪魔になるような要素は入れない」「それ

でいてどこかコミカルに」などのポイントにこだわって開発を進めました。

その後デジタルエンターテインメントコンテンツの企画制作を手がける「ポリゴンマジック」(千代田区)とのコラボ商品として、「スツキリしたい時に押すと爆発音が流れ、気分を楽にさせてくれる」というiPhone用無料アプリに仕上げました。コミュニケーションツールとして面白く使えるように、ツイッターアカウントを登録すると、自爆時間を自動でつぶやくことができる仕組みも用意しました。利用者からは、「ストレス発散になる」「社内で自爆が流行中」「iPhone買おうかな」などの感想がありました。今後については、このボタンが携帯電話や家電など、いろいろなものに標準搭載されたら面白い、もちろん爆発するのではなく、気分のリセットなどの機能として……、と期待を寄せています。

今までは自分たちで考えたものを世に発信していくことが多かったんですが、最近ではクライアントワークが多くなっています。たとえば二〇一五年には、画材メーカーの老舗・ホルベイン画材、さらにコンテンツパブリッシャー・KADOKAWAとタッグを組み、世界初の石膏アイドルユニットをリリースしました。この「石膏ボーイズ」は、美術の授業、デッサンなどで馴染みのある石膏像

の中から四体(マルス・メデイチ・聖ジョルジョ・ヘルメス)をピックアップして、それをユニット化させたもの。石膏像をこれまでにない角度から見つめ直し、「美しい人」「イケメン」として扱い、あたかも芸能人であるかのような見せ方で活動させるプロジェクトでした。そのアイドルグッズとして画材を販売しよう、とホルベイン画材さんに提案してみると、担当の方は大変乗り気になつてくれました。ちょうどKADOKAWAさんも新しいコンテンツを探しているということだったので、『石膏ボーイズ』と一緒にやりませんか?という提案をしました。KADOKAWAさんの信用で、ホルベイン画材さんもOKを出してください、三社のプロジェクトとして発表しました。KADOKAWAさんは、翌年にはアニメとしても発信もされました。

最近では中小のメーカーさんからの商品化依頼も多いです。栃木県にあるサカエ工業さんというプラスチックメーカーとは、二〇一七年にプラスチック製子供用コップ「BEER MUG FOR KIDS」を発売しました。子供だつて「グビグビ・プハー!」したい!そんな声にお応えする子供のためのビアマグです。高透明度で割れにくく、軽くしなやかな特殊プラスチック(トライタン)を使用しています。トライタンは哺乳瓶や医療部品な

どに使用されている安全性の高い素材で、燃やしてもダイオキシシンなどが発生しない。衝撃に強く、耐熱性にも優れており、食器洗浄機で洗っても溶けない。

翌二〇一八年には、第二弾商品として「Cocktail Glass For Kids」を発売。この商品は高級感がありつつも、重心が低く倒れにくい上に壊れにくいので、大人と一緒にパーティー気分を味わいたい子供にピッタリ。家庭のコミュニケーションツールにして欲しいという思いがありました。第三弾はロックグラス。最近、ウイスキーのロックを家で飲むお父さんが減っていて子供にはピンとこないかもしれないけれど、「ROCKS GLASS FOR KIDS」は、倒れにくい、ロックグラスらしいどっしりしたフォルムになっていて、ジュースを飲んでもらってもいいかなど……。最近の作品では、カプセルトイ(ガチャガチャ)の「石」、パカッと開くと中に小物を入れられる石が話題になりました。でも「石」にした理由を説明すると、意外と面白くないんですよ。ある日、家や車の合鍵を隠すにはどうしたらいいかと考えていたんです。「あ、石の中に鍵を入れて、石を玄関のところに置いといたらいいかもな」と思いつきました。そこから、この石をガチャガチャにしたら面白いかな、と思つて……。

タイトルも、シンプルに「石」にして、

メーカーであるブシロードクリエイティブさんの「TAMAKYU」企画会議に企画書を出しました。思いのほか会議の場で盛り上がって、トントントン拍子で商品化が決まったというのが経緯です。

ガチャガチャ「石」で苦労したのは、石を再現するところでした。『いい感じの石』を探しをしたのは、僕（武笠）の娘なんです。娘が自宅近くの河原で拾ってきた石の中から、「これはダメ。これもダメ。これは合格」という具合に選別しました。そうして選んだ石を中国の工場に送って3Dスキャンしてもらいましたが、税関では止められたこともありましたが（笑）。

河原の無数の石から、『いい感じの石』と判断した基準は、あくまでガチャガチャ「石」としていい感じかどうかですが、物を入れやすそうで、多くの人が石だと納得してイメーজしてくれそうな「石」というもの。でも、「石」の発売以降、いろいろな石マニアの人が食いついてくださり、新しいことも知ることができて面白かったです。

### 真逆であるほうが多角的なものを作れる

二〇二〇年三月、自宅でのテレワークに切り替えました。武笠は「芸術の町」として注目を浴びる藤野（神奈川県相模原市）に、坂本は都内近郊の住宅街に住んでいます。新型

コロナウイルスの感染拡大により、政府の緊急事態宣言が発令された頃からの数ヶ月間、自宅で仕事をしつつ、週一回のペースで原宿の表参道そばのオフィスに出社していました。その間に仕事の問題やトラブルがなかったから、自宅で仕事をしていいよね、と互いに思うようになりました。十一月にオフィスを引き払ったのですが、創業期の二〇〇四年から入っていたところですから、寂しかったです。業務上の問題や不便さなどはなかったのに、寂しさだけが残りました。管理人さんとはとてもいい人だったし、退去すると申し出た時は切なくなりました。

テレワークになって、僕（坂本）は寂しい気はしています。原宿のオフィスの頃は僕が雑談を含めていろんなことを、隣に座る武笠にずっと話しかけていました。一週間で、トータルで二十四時間以上はくだらない雑談をしていたように思います（笑）。その時、武笠は黙々と作業していることが多いから反応したり、しなかったり……。武笠をかまいたい思いが強かったんでしょうね。今は、それができない。僕（武笠）のほうは、ある意味でのストレスが減ったと思います。オフィスを借りていた時は、坂本が今日は何時にオフィスに来るのかわからない日がある。打ち合わせしたいのだけど、来ないから話せないことが時々あったのです。在宅になるとスムーズ

ズに連絡が取れます。あの頃、オフィスに一人でいる時のほうが寂しかったのかな（笑）。

リアルに向かい合う機会が減り、創造的な仕事に影響が出るのかどうかは気にはしていませんが、今のところは問題ないと思います。僕らの仕事は、0から1へのアイデアをたくさん持つておく必要があるんですが、これが二人の雑談から生まれることが多いんですよ。今はその雑談をフェイスブックのメッセンジャーでするようにしました。

Zoomを使つての二人の企画会議は週一回、二時間ほどですが、真剣ですよ。二〜三日後にクライアント企業にアイデアやデザインを提出するケースも多いですから。話し合う上でのルールや約束は決めてはいませんが、良いと思えるコンテンツを作るためには互いに妥協はしません。でも進んで行こうとする方向が同じだから、意見が違ったとしても全然ケンカにはなりません。むしろ、アイデアの弱いところが見つかったりして大切な場になっていきます。

デイスカッションの時、僕（坂本）はお客さんになりきることができんです。自分の数ある得意技の一つだと思う。僕らの企画が商品となり、売り場に並んだ時にいろいろな人が対面した際の気持ちに、限りなく近くなれます。たとえばこの業界のこんな人ならば、どんな思いで商品に接するか、と想定しながら

ら話すのです。一方、武笠は送り手都合できつちりと考えるのが得意。たとえば売り場に商品が並ぶまでに、その間に立つ人たちのことも想像し、その人たちへのメリットも踏まえた上で、僕のアイデアに助言してくれるのです。

僕らは、エンタメで生きています。なくてもいいんだけど、あったら楽しいものを作っているんです。だから僕（坂本）は、事務所があった原宿の表参道は、ある意味でいらぬものに包まれてる雰囲気の間違ったから、ここにどっぷり浸かった感覚がなくなつたいま、時々はこの空間の中に戻つてこないダメなのかな？ と思う時があります。僕（武笠）は逆の立場かもしれないけど、原宿のオフィスに通っている頃は、東京中心の発想になつていたように思います。藤野にずっといると、東京が全国の中では結構、特殊なんだと思ひ知らされます。意識の面では常に東京を向いてなくてもいいんです。広い視野で考えることができるようになった気もしていますね。最近では、地方のクライアント企業や団体から仕事の依頼をいただく機会が増えていますから、ますますその思いが強くなっています。

僕ら二人は、それぞれの思いを持ち寄るのがベスト、真逆であるほうが多角的なものを作れる気がします。それを半ば意識して、試

みているところもあるんです。そうすると、二人が組んでいるのはおいしいわ、と思えますね（笑）。

僕（武笠）は藤野で月に二回、子供を対象に工作教室をしているんです。こちらで画材や紙粘土を大量に用意して、子供たちには作りたいものをどんどん作ってもらう。そのほうが、クリエイティブティが育つんじゃないかと思っています。たとえば日常生活において「このタイミングで、これはして欲しくないな」と大人が思うことを、的確にやっってしまう子供がいるんですよ。もちろん、作品はそれぞれ面白けれど、そういう子の作品は特に独創的。やっちゃいけないことをすると、簡単に独創的な発想になるのでは？ と思うようになりました。だから「やっちゃいけないことをあえてやってみる」という発想法もいいのかと……。在宅勤務だつて、かつては「やっちゃいけないこと」のうちに入っていましたからね（笑）。

僕らの場合は雇われる側ではないので、働く場がオフィスでも自宅でも、仕事への意識は大きく変わらないので、プライベートとの境がとても曖昧になります。でも会社員の方も、やがては僕らと同じような感じ方になるのでは、とは思っています。そうして世の中がもっと面白くなっていったら、と楽しみにしています。

## 【講師略歴】

### ザリガニワークス

武笠太郎（むかさ・たろう）

一九七三年生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒。マルチクリエイティブ会社ザリガニワークスの工作担当。「コレジャナイロボ」製作数は七千五百体。「ごはんかいじゅうパップ」や「無気力フレンズ」ではイラストも担当。趣味の段ボール工作ではEテレ「へんしんーダンコちゃん」に出演。プロダクト、グラフィックデザインを中心にプランナー&ディレクターとしても多数のクライアントワークをこなす。

### 坂本嘉種（さかもと・よしたね）

一九六九年生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒。マルチクリエイティブ会社ザリガニワークスのデザイン担当。各種デザイン、イラストを中心に、最近ではライティングワークも。同社代表作「コレジャナイロボ」の主題歌「THE NO.1 HERO」コレジャナイロボ!」では、作詞・作曲も手掛けている。プロダクト、グラフィックデザインを中心にプランナー&ディレクターとしても多数のクライアントワークをこなす。

### 著書

「遊んで暮らすコレジャナイ仕事術」（パルコ出版刊）、「超玩具発想法 ザリガニワークスのスーパートイ工房」（東京ニユース通信社刊）

何で「ザリガニワークス」なんですか？

と聞かれることがよくありますので、最後にお答えして、終わりにしようと思います。

二人で会社をやるうってことになった時、スタートアップなんだから、覚えてもらいたいやすい名前がいいだろうということになりました。じゃあ、覚えてもらいたいやすい名前ってなんだろう？ と考えてみると、名刺交換の際、受け取った相手が若干嫌がるような名前のほうが、結構覚えやすいものが多いと気づきました。初対面の時、ちょっと恥ずかしそうに「うちの社長はこんな社名つけちゃったんですけど……」みたいな感じで名刺を出してくると、受け取る側も「意外とインパクトがあつていい名前じゃないですか」って感じになるんです。

そうだ、それにしようということ、まず指針が決まったんですね。それからいろいろと変な名前を考えて、中には本当に嫌だなみたいな名前も出したんですが、ある時僕が坂本に、「ザリガニワークスっていうのはどうだ？」と話しました。物作りのイメージもあるし、ザリガニは子供と仲良しだから、おもちゃを作るイメージもあつていいかなと思つて……。

ええ、おかげで、一発で覚えてもらえる名前になりました。

以上

◆新入会員ご紹介

前会までの理事会で承認され、入会された方をご紹介します。(敬称略・到着順)



佐藤 雅俊  
昭和六十年・法学部卒  
雪印メグミルク(株)  
代表取締役社長  
東京都小平市在住



山村 伸介  
昭和五十四年・商学部卒  
上田八木短資(株)  
中国室テックエグゼクティブディレクター  
東京都江東区在住



勢藤 大輔  
平成十五年・商学部卒  
クニミネ工業(株)  
代表取締役社長  
東京都杉並区在住



永井 伸彦  
昭和五十七年・商学部卒  
株式会社フラシーヌ  
代表取締役社長  
東京都世田谷区在住



秋谷 勝俊  
昭和六十二年・商学部卒  
株式会社UACJ 押出加工  
取締役営業本部長  
東京都久留米市在住



鈴木 啓太  
平成二十年・政経学部卒  
株式会社Avalanche Tech  
代表取締役  
大阪府大阪市在住



川島 輝夫  
昭和五十七年・政経学部卒  
株式会社UACJ  
取締役副社長執行役員  
東京都目黒区在住

◆駿台トピックス



山田朝彦氏が第9回日展に、ウクライナ軍事侵攻を憂いて描いた「道標(みちしるべ) 2022」という素晴らしい作品を出品

◆十一月例会出席者

相澤淳一、青柳勝栄、浅井宏、安達明正、阿部倫明、ご同伴、有賀隆治、伊東正博

同ご同伴、伊原敏雄、今村健、上西紘二、宇川一夫、潮田伊佐夫、内川雄一郎、梅野修、榎本知佐、大石哲也、大澤健太郎、大竹夏夫、大野正美、大前実之、大村託現、奥村勝広、尾暮敏範、鬼塚和也、狩野省市、栢森靖、河村博、神田達治、神林光、木村健一、清野明男、草木頼幸、杵掛英二、久保聡、栗原権石、衛門、小井戸亮文、小島清二、同ご同伴、児玉圭司、同ご同伴、小濱雅説、小山修、小山有彦、根田哲雄、根田吉雄、齋藤柳光、坂田英夫、坂本道昭、佐藤和正、佐藤仁、佐藤陽子、佐野公哉、澤野太嘉嗣、柴田清之、杉浦伸二、鈴木紘一、鈴木隆志、関根均、瀬戸正道、相臺志浩、高澤徹、高見克司、田口幸隆、同ご同伴、竹内太一、武内裕、田中等、田村駿、田村健、樽見俊之、辻井知明、当山明彦、徳丸平太郎、富水流孝二、中野祥宏、中村豊、二井康夫、西澤豊、根岸伸明、野口一哉、萩原裕次、長谷川進一、畠中君代、同ご同伴、幡谷公朗、馬場範夫、濱田憲孝、林威樹、平田静子、深代尚夫、同ご同伴、福田和彦、同ご同伴、古本英樹、真家裕介、眞壁八郎、榎野泰、松崎優子、三浦栄治、美濃和男、向井眞一、村岡健、村山友彦、室井恵明、柳谷孝、山口大介、山口政廣、山田晃久、山田朝彦、山根敏明、山端康幸、吉田光一郎、吉田信行、同ご同伴、渡邊建三、甲斐靖文様（明治大学マンドリン倶楽部OB会長）

経済、法曹、文化など各界でご活躍の明治大学OB諸氏よ！  
来たれ！「連合駿台会へ！」

あけましておめでとうございます

旧年中は大変お世話になりました。昨年も相変わらずコロナの感染拡大は収まらず、今年にまた持ち越した形になりました。昨年はロシアのウクライナ侵攻、隣国の核威嚇の緊張、さらに歴史的な円安による物価高が暮らしを直撃するなど激動の1年でした。

新しい年を迎え、気持ちを新たに平和で明るく豊かな年にすべく、皆さまと共に努力を重ね

てまいりたいと思います。

「連合駿台会」は明治大学を卒業された経済人、法曹人、文化人が集まり、母校を側面から支え、将来を支援するOB組織です。1953年に「茗水クラブ」として設立され、1964年設立の「明友クラブ」を2002年に統合、今年で70周年を迎えます。母校は創立150周年に向けて大きな飛躍を目指しています。我々も「前へ！」の精神で大きな貢献をしてみたいと思います。



連合駿台会会長  
田村 駿  
(明治大学評議員会議長)

資料のご請求はこちらまで 連合駿台会事務局 TEL: 03-3296-4747 FAX: 03-3296-4748 HP: <https://www.rengosundaikai.jp>  
Email: [rengosundaikai@silk.ocn.ne.jp](mailto:rengosundaikai@silk.ocn.ne.jp)

★明治大学広報(1月1日号)に掲載された大学への支援広告。今後も2ヵ月に1回掲載していく予定です。

**【編集後記】**

会員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

二〇二三年の幕開けです。

第九十九回の箱根駅伝はどうなっているでしょうか。

シードを獲得してくれていると嬉しいです。

この記事を書いている頃は、まだ対ドルが百三十三円を切るぐらいで、物価は上がり調子には変わりません。

また、コロナ禍もロシアのウクライナ侵攻も先が見えていません。

今年も先が見えず、生活も楽ではないようなイメージです。

さて私が卒業した工学部のある生田キャンパスは、だいぶ趣が変わってきているようです。四月より第二中央校舎が予定されているのです。

ここは図書館横のヒマラヤ杉の鬱蒼としたエリアでした。

第一校舎、第二校舎、四十年以上過ぎれば教授も研究室も建物も様変わりしています。

どうか本年も聡明な若者に入学してもらいたいと思います。

我々卒業生はあらゆる分野で名を挙げようという努力し、世間の方々にアピール出来たらと思います。

少しでも小さくても幸せをつくって見つけて、過ごしていきたいものです。

(大石哲也)